

第 3 部

參考資料

平成 26 年度厚生労働省社会福祉推進事業
 福島県の避難者に対する効果的な福祉支援のあり方に関する調査研究事業

アンケート調査票

「アンケート調査ご協力をお願い」の裏面に、アンケートご記入にあたっての注意とお願いを記載しています。そちらをご覧ください。そちらを閲覧になった上でご回答ください。

▼あなたご自身についてお聞かせください。

問 1 あなた（あて名のご本人）の性別、平成 26 年 10 月 1 日現在の年齢をお答えください。 (○は 1 つ)

1. 男性 2. 女性 () 歳 ※ 年齢を記入してください。

問 2 東日本大震災（以下、「震災」という。）発生当時、あなたはどちらにお住まいでしたか。 (○は 1 つ)

1. 富岡町 2. 大熊町 3. 双葉町
 4. 浪江町 5. 葛尾村 6. その他 ()

問 3 震災発生当時住んでいた地域は、現在、以下のどれにあてはまりますか。 (○は 1 つ)

1. 帰還困難区域 2. 居住制限区域
 3. 避難指示解除準備区域 4. その他 ()

問 4 あなたの現在のお住まいはどちらですか。

() 都・道・府・県 () 市・区・町・村

▼世帯の状況についてお聞かせください。

問 5 震災発生当時、同居していた方について、あなたからみた続柄に○をしてください。 (あてはまるものすべてに○)

※ 施設に入所していたり、単身で赴任していた方などは、同居には含みません。

1. ひとり暮らし → 問 6 へ 2. 配偶者 3. 子ども
 4. 子どもの配偶者 5. 孫 6. 親（義理の親を含む）
 7. 兄弟姉妹 8. 友人、知人
 9. その他 ()

(付問) 震災発生当時、何人で暮らしていましたか。

一緒に暮らしていたのは () 人 ※ ご自身も含めた人数を記入してください。

問6 現在、同居している方について、あなたからみた続柄に○をしてください。
あなたに配偶者がいる場合、その方の年齢もご記入ください。

(あてはまるものすべてに○)

※ 施設に入所していたり、単身で赴任している方などは、同居には含みません。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. ひとり暮らし → 問7へ | 2. 配偶者 → () 歳 |
| 3. 子ども | 4. 子どもの配偶者 |
| 5. 孫 | 6. 親 (義理の親を含む) |
| 7. 兄弟姉妹 | 8. 友人、知人 |
| 9. その他 () | |

(付問) 現在、何人で暮らしていますか。

一緒に暮らしているのは () 人 ※ ご自身も含めた人数を記入してください。

問7 同居している人について、震災発生当時と現在を比べると、以下のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 世帯でまとまって1か所に避難している (ひとり暮らしを含む)
2. 2か所に分散して避難している
3. 3か所に分散して避難している
4. 4か所に分散して避難している
5. 5か所以上に分散して避難している
6. その他 ()

問8 避難先で生活していく上で、家族とのつながりは、あなたの心の支えになっていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とてもなっている | 2. ある程度なっている |
| 3. あまりなっていない | 4. まったくなっていない |

問9 避難先で生活していく上で、親族とのつながりは、あなたの心の支えになっていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とてもなっている | 2. ある程度なっている |
| 3. あまりなっていない | 4. まったくなっていない |

問10 避難先での家族・親族関係について、不安や困っていることはありますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|----------|---------|----------|
| 1. まったくない | 2. あまりない | 3. 少しある | 4. とてもある |
|-----------|----------|---------|----------|

「少しある」「とてもある」と回答した方は、どのようなことが不安であるか、どのようなことに困っているかご記入ください。

▼住まいの状況についてお聞かせください。

問11 住まいについて、(1) (2) のそれぞれあてはまるもの1つに○をしてください。

※持ち家：あて名の方で本人ではなく、家族が所有している場合も「持ち家」として
ください。

(1) 震災発生当時、どのような住まいに暮らしていましたか。 (○は1つ)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 持ち家の一戸建て (ローンあり) | 2. 持ち家の一戸建て (ローンなし) |
| 3. 持ち家のマンション (ローンあり) | 4. 持ち家のマンション (ローンなし) |
| 5. 公営住宅 | 6. 賃貸のアパート、マンション |
| 7. 賃貸の一戸建て | 8. 給与住宅 (社宅など) |
| 9. その他 () | |

(2) 現在、どのような住まいに暮らしていますか。 (○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 仮設住宅 | 2. 仮設住宅 (民間借上げ型) |
| 3. 仮設住宅 (公営住宅) | 4. 仮設住宅 (雇用促進住宅) |
| 5. 公営住宅 (有償) | 6. 賃貸のアパート、マンション (有償) |
| 7. 賃貸の一戸建て (有償) | 8. 持ち家の一戸建て |
| 9. 持ち家のマンション | 10. 給与住宅 (社宅など) |
| 11. 親戚・知人宅 | 12. その他 () |

問12 あなたが、現在の住まいに暮らすようになってから、どのくらい経ちますか。

() 年 () か月

問13 あなたは、震災発生当時から現在の住まいに暮らすようになるまで、何回、住まい (避難所を含む) を変えていますか。

これまでに () 回、住まいを変えた

問14 あなたは、現在の住まいについて、どのくらい満足していますか。 (○は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. とても満足している | 2. ある程度満足している |
| 3. あまり満足していない | 4. まったく満足していない |

問15 住宅の再建、暮らし続けられる住宅の確保などについて、不安や困っていることはありますか。 (○は1つ)

1. まったくない 2. あまりない 3. 少しある 4. とてもある

「少しある」「とてもある」と回答した方は、どのようなことが不安であるか、どのようなことに困っているかご記入ください。

▼仕事の状況についてお聞かせください。

問16 あなたの仕事について、(1)(2)のそれぞれあてはまるもの1つに○をしてください。

(1) あなたは、震災発生当時、収入を伴う仕事をしていましたか。 (○は1つ)

1. 常勤の勤め人 2. 非常勤、パート、アルバイトの勤め人
3. 自営業（農業などを含む） 4. 学生
5. その他（ ）
6. 仕事はしていなかった（求職あり） 7. 仕事はしていなかった（求職なし）

(2) あなたは、現在、収入を伴う仕事をしてますか。 (○は1つ)

1. 常勤の勤め人 2. 非常勤、パート、アルバイトの勤め人
3. 自営業（農業などを含む） 4. 学生
5. その他（ ）
6. 仕事はしていない（求職あり） 7. 仕事はしていない（求職なし）

問17 あなたは、震災が影響して、以下のような経験をしましたか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 休職した 2. 退職した（定年退職を除く）
3. 解雇された 4. 転職した
5. 就職した 6. 雇用形態（正社員・非常勤など）が変わった
7. 休業した 8. 廃業した
9. 倒産した
10. その他（ ）
11. 上記のような経験はしていない
12. 仕事はしていない

問18 あなたは、今後、就職や転職、自営業（農業などを含む）の再建などの意向がありますか。 （あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 就職したい | 2. 転職したい |
| 3. 退職したい | 4. 自営業（農業などを含む）を始めたい |
| 5. 自営業（農業などを含む）を再建したい | |
| 6. 自営業（農業などを含む）を休業・廃業したい | |
| 7. その他（ | ） |
| 8. 上記のような意向はない | |

問19 現在、仕事をしている方に伺います。現在の仕事について、どのくらい満足していますか。 （○は1つ）

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. とても満足している | 2. ある程度満足している |
| 3. あまり満足していない | 4. まったく満足していない |

問20 あなたは、仕事について不安や困っていることはありますか。 （○は1つ）

- | | | | |
|-----------|----------|---------|----------|
| 1. まったくない | 2. あまりない | 3. 少しある | 4. とてもある |
|-----------|----------|---------|----------|

「少しある」「とてもある」と回答した方は、どのようなことが不安であるか、どのようなことに困っているかご記入ください。

▼暮らし向き（経済状況）についてお聞かせください。

問21 現在、あなたの世帯の生活を支える収入には、どのようなものがありますか。 （あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. あなたの給与所得 | 2. 配偶者・同居人の給与所得 |
| 3. 自営業の所得 | 4. 国民年金 |
| 5. 厚生年金 | 6. 共済年金 |
| 7. 家族・親族からの仕送り | 8. 預貯金などの取り崩し |
| 9. 生活保護 | 10. 賠償金 |
| 11. その他（ | ） |

問22 震災発生前の暮らし向き（経済状況）はいかがでしたか。 （○は1つ）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 余裕があった | 2. どちらかという余裕があった |
| 3. どちらかという余裕がなかった | 4. 余裕がなかった |

問23 現在の暮らし向き（経済状況）はいかがですか。 (○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 余裕がある | 2. どちらかという余裕がある |
| 3. どちらかという余裕がない | 4. 余裕がない |

▼心身の状況についてお聞かせください。

問24 この1年を振り返り、あなたの健康状態について、以下にあてはまるものはありますか。 (あてはまるものすべてに○)

1. 持病が悪化した → 具体的に ()
2. 治療が必要な病気にかかった → 具体的に ()
3. 疲れやすい
4. よく眠れない
5. 食欲がない
6. イライラする、怒りっぽくなった
7. 気分が落ち込むことがある
8. やる気が起こらない
9. 飲酒（アルコール）が増えた
10. 喫煙が増えた
11. その他 → 具体的に ()
12. あてはまるものはない

問25 あなたは、ご自身の心身の健康状態についてどのように思っていますか。 (○は1つ)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 健康である | 2. どちらかという健康である |
| 3. どちらかという健康ではない | 4. 健康ではない |

問26 ご自身の心身の健康状態や医療サービス（受診、通院、入院、服薬など）について、不安や困っていることはありますか。 (○は1つ)

- | | | | |
|-----------|----------|---------|----------|
| 1. まったくない | 2. あまりない | 3. 少しある | 4. とてもある |
|-----------|----------|---------|----------|

「少しある」「とてもある」と回答した方は、どのようなことが不安であるか、どのようなことに困っているかご記入ください。

▼地域との関わり等についてお聞かせください。

問27 現在、ご近所には、あなたやあなたの家族以外にも福島原子力発電所事故による避難者がいますか。 (○は1つ)

1. 避難者がいる (5世帯以上) → (付問1) へ
2. 避難者がいる (4世帯以下) → (付問1) へ
3. いない
4. その他 ()
5. わからない

(付問1) あなたと、ご近所に暮らす福島原子力発電所事故による避難者は、どのようなつきあいをしていますか。 (あてはまるものすべてに○)

1. どんな人が住んでいるかも知らないし、つきあいもない
2. どんな人が住んでいるか知っているが、ほとんどつきあいはない
3. 挨拶を交わす
4. 世間話をする
5. 日常生活上の相談をする
6. お土産や貰い物などのおすそ分けをする
7. お互いの家を行き来する
8. その他 (具体的に:)

(付問2) 付問1で3～8を選んだ方に伺います。そのようなつきあいをする方が何人ぐらいいますか。

合計して () 人ぐらいいる

問28 あなたと、避難者以外のご近所の方たちは、どのようなつきあいをしていますか。 (あてはまるものすべてに○)

1. どんな人が住んでいるかも知らないし、つきあいもない
2. どんな人が住んでいるか知っているが、ほとんどつきあいはない
3. 挨拶を交わす
4. 世間話をする
5. 日常生活上の相談をする
6. お土産や貰い物などのおすそ分けをする
7. お互いの家を行き来する
8. その他 (具体的に:)

(付問) 3～8を選んだ方に伺います。そのようなつきあいをする方が何人ぐらいいますか。

合計して () 人ぐらいいる

問29 あなたは現在、お住まいの地域の催事や行事に参加していますか。 (○は1つ)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 積極的に参加している | 2. できる限り参加している |
| 3. 必要なこと以外は参加していない | 4. まったく参加していない |

(付問) 3か4を選んだ方に伺います。それはなぜですか。具体的にご記入ください。

問30 あなたは、現在お住まいの地域との関わり、近隣の人とのつながりが心の支えになっていますか。 (○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とともなっている | 2. ある程度なっている |
| 3. あまりなっていない | 4. まったくなっていない |

問31 あなたは、現在暮らしている地域において、福島原子力発電所事故による避難者が地域の人々に受け入れられていると思いますか。 (○は1つ)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 受け入れられている | 2. ある程度受け入れられている |
| 3. あまり受け入れられていない | 4. まったく受け入れられていない |

問32 あなたは、現在暮らしている地域は、暮らしやすいと思いますか。 (○は1つ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 暮らしやすい | 2. どちらかといえば暮らしやすい |
| 3. どちらかといえば暮らしにくい | 4. 暮らしにくい |

問33 今後、暮らしていく地域について、現在の考えをお聞かせください。 (○は1つ)

1. 現在、暮らしている地域で暮らし続けたい
2. 別の地域（現在、暮らしている地域と同じ市町村）で暮らしたい
3. 別の地域（現在、暮らしている地域とは違う市町村）で暮らしたい
4. 元の（避難前の）地域に戻って暮らしたい
5. 決まっていない・わからない
6. その他 ()

問34 今後、希望する住まいについて、現在の考えをお聞かせください。 (○は1つ)

1. 住宅を購入または新築
2. 民間賃貸住宅
3. 公営住宅
4. 復興公営住宅
5. 元の（避難前の）住まい
6. 決まっていない・わからない
7. その他 ()

問38 あなたは、震災後、困りごとの相談をしましたか。相談先はどこですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 相談をしていない | |
| 2. 家族・親族 | 3. 友人・知人 |
| 4. 近隣の人（町会・自治会を含む） | 5. 役所（役場） |
| 6. 福島県庁 | 7. 地域包括支援センター |
| 8. 社会福祉協議会の窓口 | 9. 生活支援相談員 |
| 10. 民生委員・児童委員 | 11. 介護事業者（介護関係者） |
| 12. ボランティアやNPO 団体 | 13. 福祉関係団体 |
| 14. 警察や消防 | 15. 医師・看護師・保健師など |
| 16. 弁護士・法テラス | |
| 17. その他（ | ） |

(付問) 2～17を選んだ方に伺います。相談した内容は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 住まい（再建、仮設住宅、災害公営住宅、転居など）
2. 仕事（就職、休職、転職、起業・再建・廃業、資金繰りなど）
3. 経済的なこと（生活資金、生活設計、資産管理、相続など）
4. 心の健康、精神的なこと（抑うつ、憂鬱、無力感、イライラなど）
5. 身体の健康（病気、体調など）
6. 病院や通院・入院・服薬
7. 介護や介護予防
8. 家族との関係
9. 地域との関係
10. 子育て、教育・学校
11. 福祉サービス（介護保険、障害関連サービス、保育園利用など）
12. 年金や医療保険などの社会保険
13. 元の住まいや地域の状況（放射線量、除染など）
14. 賠償金の申請・交渉
15. その他（

問39 避難生活をしていく上で、あなた自身が相談について困っていることはありませんか。

(あてはまるものすべてに○)

1. どこに相談していいかわからない
 2. 身近に話を聞いてもらえる人（ところ）がない
 3. 気軽に相談できる人（ところ）がない
 4. 継続的に相談できる人（ところ）がない
 5. 専門的なことが相談しにくい
 6. 内容によって相談先を変えなくてはいけない
 7. 相談できるまでに時間がかかる（予約が必要など）
 8. 相談先が遠い（相談先まで行けない）
 9. その他（
10. 特にない

問40 あなたは、避難先での生活に関わる相談について、どの程度満足していますか。
(○は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. とても満足している | 2. ある程度満足している |
| 3. あまり満足していない | 4. まったく満足していない |

問41 あなたは、現在お住まいの地域の機関・団体からの支援が心の支えになっていますか。
(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とてもなっている | 2. ある程度なっている |
| 3. あまりなっていない | 4. まったくなっていない |

問42 あなたは、もしくは一緒に暮らしている家族は、福祉サービス（介護保険、障害者（児）へのサービス、保育園や学童保育など）を現在、利用していますか。
(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

(付問1) 「利用している」と回答した方に伺います。福祉サービスの利用や介護負担などについて、あてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. サービスに関する情報が不足している
2. サービスに関する相談ができない
3. サービス利用の手続きが難しい
4. 利用したいサービスがすぐに利用できない
5. サービスがないため、利用したいサービスを選べない
6. サービスを利用できない(サービスが不足している、施設入所できない場合を含む)
7. サービスの質に課題がある(専門職の不足、仮設施設の利用など)
8. サービスを利用するときの費用負担が大きい
9. 転居した場合のサービスの利用・継続が不安である
10. 仮設住宅でのサービス利用が難しい
11. 仮設住宅での介護が難しい
12. 家族の介護負担が軽減されていない
13. その他 ()
14. わからない
15. あてはまるものはない

(付問2) 「利用している」と回答した方に伺います。あなたは、避難先での福祉サービスの利用の状況について、どの程度満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. とても満足している | 2. ある程度満足している |
| 3. あまり満足していない | 4. まったく満足していない |

問43 避難先で暮らしやすくなるためには、何が必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 気軽に話せる友人・知人づくり
2. 避難元の住民の交流の場
3. 避難者と地元住民の交流の場
4. 地域の居場所や相談場所づくり
5. 地域での見守り活動
6. 住民による支え合い・助け合いの取り組み
7. その他 ()
8. あてはまるものはない

▼ご自身の考えについてお聞かせください。

問44 以下の(ア)～(ウ)について、それぞれご自分の考えに近いもの1つに○をしてください。

	とてもそう 思う	そう思う	あまりそう 思わない	思わない
(ア) これからのことについて、前向きに考えられる	4	3	2	1
(イ) 1年後の自分の暮らしは今よりは良くなっている	4	3	2	1
(ウ) 福島の復興は少しずつ進んでいる	4	3	2	1

▼福島避難者に対する福祉支援のあり方等について、ご意見やご要望をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。
返信用封筒に入れて、11月20日(木)までに
ポストに投かんしてください。

福島県庁ヒアリング質問項目

(1) 福島第1原子力発電所の事故（以下、「事故」）以降の、福島県における「避難者」（原則、避難指示区域の住民とする）の動向について、資料をご提供ください。

- 避難の経緯に関する資料
- 避難者の基礎データ：避難者数やその基本属性、避難先、など
- 避難者に関する社会調査：これまでに実施した「生活実態調査」、など

(2) 福島県の避難者の福祉課題（ニーズ）と、その動向についてお教えてください。

※ おわかりになる範囲でけっこうです。

<視点別>

- ・高齢者（元気な方、介護予防が必要な方、要支援・要介護の方／在宅・施設）
- ・障害者（子ども、青年・壮年層／身体・知的・精神・発達障害）
- ・子ども家庭（保育が必要な方、ひとり親家庭など）
- ・生活保護受給者や低所得者
- ・社会的排除されている住民
- ・その他 *仮設住宅、みなし仮設住宅

※ 事故後から現在まで、福祉課題（福祉ニーズ）はどのように変化していますか。

(3) 福島県がこれまで取り組んで来た避難者への福祉支援（福祉サービスなど）についてお教えてください。

- 国（厚生労働省など）による支援施策
- 福島県による支援施策
- 県内の市町村及び市町村社協などの民間団体への支援施策
- その他の支援施策

<補問> ※ おわかりになる範囲でけっこうです。

* 福島県が実施している「専門職チーム」の派遣についてお教えてください。

※ 事故後から現在まで、福祉支援（福祉サービスなど）はどのように変化していますか。

※ 事故後から現在まで、福祉支援（福祉サービスなど）の課題は何ですか。

<視点別>

- ・市町村の課題
- ・市町村社協の課題
- ・事業者の課題
- ・民間団体（福祉NPOや当事者・福祉関連団体など）
- ・人材（福祉専門職など）の確保・育成およびその専門性確保の課題
- ・地域住民（避難者も含む）の課題

◎財源確保の課題、情報提供の課題、持続可能なシステム構築の課題、など

(4) 福島県における福祉支援を充実させるために今後、必要となる取り組みは何ですか。お教えてください。(県の取り組みだけでなく、一般論も含みます。)

<視点別>

- ・物資（財とサービス）
- ・財政
- ・人材
- ・情報
- ・その他 ※地域包括ケアシステムの構築など

◎国・県・市町村の役割、県・市町村社協の役割、その他民間事業者・団体の役割、地域住民・避難者の役割、など

<補問> ※ おわかりになる範囲でけっこうです。

* 福島県の福祉計画の取り組み状況についてお教えてください。

- ・高齢者福祉計画・介護保険事業計画
- ・障害者計画・障害福祉計画
- ・子ども・子育て計画
- ・地域福祉計画（行政）
- ・地域福祉活動計画（社協）

(5) 福島県として、避難者の方々の中長期的な将来像をどのように描いていますか。お教えてください。

(6) その他

福島県避難者支援課ヒアリング質問項目

- (1) 福島県の避難者支援課（以下、貴課）が設置された経緯、また東京都庁に事務所が設置されるまでの経緯についてお教えてください。また、あわせて現在、避難者支援課が取り組んでいる事業・活動の内容について具体的にお教えてください。
- (2) 貴課が把握している、①避難者と、②福祉支援が必要な避難者の福祉課題（ニーズ）と、その動向についてお教えてください。なお、ここでいう①「避難者」とはいわゆるお元気な方々のことで、②「福祉支援が必要な避難者」とは、たとえば高齢者（介護予防が必要な方、要支援・要介護の方）、障害者（身体・知的・精神・発達障害）、児童（保育が必要な方、ひとり親家庭など）、生活保護受給者や低所得者、社会的に排除されている住民、などを具体的には指します。
- (3) 貴課がこれまで取り組んできた、①避難者と、②福祉支援が必要な避難者に対する福祉サービスなどについてお教えてください。（できれば、それが貴課設置後、現在までの間にどのように変化してきたかについてもお教えてください。）
また、そのなかに当該の市区町村（行政）、市区町村社協や、民間福祉関連団体、地域団体（たとえば、町内会・自治会、婦人会）などへの支援策や連携策はありますか。もしあるとすれば、どのような福祉サービスですか。
- (4) 貴課が考えている、①避難者と、②福祉支援が必要な避難者への福祉サービスの課題は何ですか。また、それは貴課設置後、現在までの間に、どのように変化してきていますか。たとえば、市区町村（行政）、市区町村社協、福祉事業者、民間団体（福祉NPOや当事者・福祉関連団体など）、福祉人材（福祉専門職など）の確保・育成及びその専門性の確保、地域住民（避難者も含む）などの課題についても、わかる範囲でお教えてください。
- (5) 貴課が行なっている、①避難者と、②福祉支援が必要な避難者への福祉支援を充実させるために今後、必要となる取り組みは何ですか。貴課が取り組んでいることだけでなく、一般論も含め、物資（財とサービス）、財政、人材、情報、その他（地域包括ケアシステムの構築など）の視点からお教えてください。
- (6) 貴課では、①避難者と、②福祉支援を必要とする避難者の方々の、中長期的な将来像（将来展望）をどのように描いていますか。具体的にお教えてください。

5 町村ヒアリング質問項目

- (1) 福島第1原子力発電所の事故以降の、あなたの町村の避難者（原則、避難指示区域の住民とする）のなかで、福祉支援を必要とする人たち（＝利用者）の動向について把握している資料（たとえば「生活実態調査」など）がありましたらご提供ください。
- (2) あなたの町村の、福祉支援が必要な避難者の福祉課題（ニーズ）と、その動向について、あなたの町村が把握している範囲内でお教えてください。なお、ここでいう「福祉支援が必要な避難者」とは、たとえば高齢者（元気な方、介護予防が必要な方、要支援・要介護の方）、障害者（身体・知的・精神・発達障害）、児童（保育が必要な方、ひとり親家庭など）、生活保護受給者や低所得者、社会的に排除されている住民、などを具体的には指します。
- (3) あなたの町村がこれまで取り組んできた、福祉支援が必要な避難者への福祉サービスなどについてお教えてください。（できれば、それが被災直後から現在までの間にどのように変化してきたかについてもお教えてください）
また、そのなかに当該の町村社協や、民間福祉関連団体、地域団体（たとえば、町内会・自治会、婦人会）などへの支援策はありますか。もしあるとすれば、どのような福祉サービスですか。
- (4) 福祉支援が必要な避難者への福祉サービスの課題は何ですか。また、それは被災直後から現在までの間に、どのように変化してきていますか。たとえば、市町村社協、福祉事業者、民間団体（福祉NPOや当事者・福祉関連団体など）、福祉人材（福祉専門職など）の確保・育成及びその専門性の確保、地域住民（避難者も含む）などの課題についても、わかる範囲でお教えてください。
- (5) 被災直後から現在まで、あなたの町村が関わる、市町村「間」の福祉支援に対する「連携」（たとえば、介護保険のサービスを一緒に行なうなど）があれば、その経緯と、現状と課題についてお教えてください。
- (6) あなたの町村の福祉支援を充実させるために今後、必要となる取り組みは何ですか。町村（行政）の取り組みだけでなく、一般論も含め、物資（財とサービス）、財政、人材、情報、その他（地域包括ケアシステムの構築など）の視点からお教えてください。
- (7) あなたの町村の福祉計画（高齢者福祉計画・介護保険事業計画、障害者計画・障害福祉計画、子ども・子育て支援計画、地域福祉計画（行政）、地域福祉活動計画（社協）など）の取り組み状況についてお教えてください。
- (8) あなたの町村は、福祉支援を必要とする避難者の方々の中長期的な将来像をどのように描いていますか。お教えてください。

福島県社協ヒアリング質問項目

(1) 福島第1原子力発電所の事故（以下、「事故」）以降の、福島県における「避難者」（原則、避難指示区域の住民とする）の動向について、把握している範囲内でお教えてください。

- 避難の経緯に関する資料
- 避難者の基礎データ：避難者数やその基本属性、避難先、など
- 避難者に関する社会調査：これまでに実施した「生活実態調査」、など

(2) 福島県の避難者の福祉課題（ニーズ）と、その動向についてお教えてください。

<視点別>

- ・高齢者（元気な方、介護予防が必要な方、要支援・要介護の方／在宅・施設）
- ・障害者（子ども、青年・壮年層／身体・知的・精神・発達障害）
- ・子ども家庭（保育が必要な方、ひとり親家庭など）
- ・生活保護受給者や低所得者
- ・社会的排除されている住民
- ・その他 ＊仮設住宅、みなし仮設住宅

※ 事故後から現在まで、福祉課題（福祉ニーズ）はどのように変化していますか。

(3) 福島県社協がこれまで取り組んで来た避難者への福祉支援（福祉サービスなど）についてお教えてください。

- 国（厚生労働省など）による支援施策
- 福島県による支援施策
- 県内の市町村社協への支援施策
- 県内の民間福祉関連団体への支援施策
- その他の支援策

<補問>

* 福島県が実施している「専門職チーム」の派遣についてお教えてください。

※ 事故後から現在まで、福祉支援（福祉サービスなど）はどのように変化していますか。

※ 事故後から現在まで、福祉支援（福祉サービスなど）の課題は何ですか。

<視点別>

- ・市町村の課題
- ・市町村社協の課題
- ・事業者の課題
- ・民間団体（福祉NPOや当事者・福祉関連団体など）
- ・人材（福祉専門職など）の確保・育成およびその専門性確保の課題
- ・地域住民（避難者も含む）の課題

◎財源確保の課題、情報提供の課題、持続可能なシステム構築の課題、など

- (4) 事故後の県内市町村社協の福祉支援に対する取り組みの経緯と、現状と課題についてお教えてください。(市町村社協間の連携状況も含む)
- 避難指示区域の市町村社協はどうか。
 - 避難指示区域から避難者を受け入れている市町村社協はどうか。
 - 避難指示区域から避難者をほとんど受け入れていない市町村社協はどうか。
- (5) 福島県における福祉支援を充実させるために今後、必要となる取り組みは何ですか。お教えてください。(社協の取り組みだけでなく、一般論も含みます)

<視点別>

- ・物資（財とサービス）
- ・財政
- ・人材
- ・情報
- ・その他 *地域包括ケアシステムの構築など

◎国・県・(市)町村の役割、(県)社協の役割、その他民間事業者・団体の役割、地域住民・避難者の役割、など

<補問>

- *福島県の福祉計画の取り組み状況についてお教えてください。
- ・高齢者福祉計画・介護保険事業計画
 - ・障害者計画・障害福祉計画
 - ・子ども・子育て計画
 - ・地域福祉計画（行政）

◎地域福祉活動計画（社協）

- (6) 福島県社協として、避難者の方々の中長期的な将来像をどのように描いていますか。お教えてください。
- (7) その他

5 町村社協ヒアリング質問項目

- (1) 福島第1原子力発電所の事故以降の、あなたの町村の避難者（原則、避難指示区域の住民とする）のなかで、福祉支援を必要とする人たち（＝利用者）の動向について、あなたの社協が把握している資料（たとえば「生活実態調査」など）がありましたらご提供ください。
- (2) あなたの町村の、福祉支援が必要な避難者の福祉課題（ニーズ）と、その動向について、あなたの社協が把握している範囲内でお教えてください。なお、ここでいう「福祉支援が必要な避難者」とは、たとえば高齢者（元気な方、介護予防が必要な方、要支援・要介護の方）、障害者（身体・知的・精神・発達障害）、児童（保育が必要な方、ひとり親家庭など）、生活保護受給者や低所得者、社会的に排除されている住民、などを具体的には指します。
- (3) あなたの社協がこれまで取り組んできた、福祉支援が必要な避難者への福祉サービスなどについてお教えてください。（できれば、それが被災直後から現在までの間にどのように変化してきたかについてもお教えてください）
また、そのなかに民間福祉関連団体、地域団体（たとえば町内会・自治会、婦人会）などへの支援策はありますか。もしあるとすれば、それはどのような福祉サービスですか。
- (4) あなたの社協が取り組んでいる、福祉支援が必要な避難者への福祉サービスの課題は何ですか。また、それは被災直後から現在までの間に、どのように変化してきていますか。たとえば、市町村（行政）、福祉事業者、民間団体（福祉NPOや当事者・福祉関連団体など）、福祉人材（福祉専門職など）の確保・育成及びその専門性の確保、地域住民（避難者も含む）などの課題についても、わかる範囲でお教えてください。
- (5) 被災直後から現在まで、あなたの社協が関わる、市町村社協「間」の福祉支援に対する「連携」（たとえば、福祉サービスを一緒に行うなど）があれば、その経緯と、現状と課題についてお教えてください。
- (6) あなたの町村の福祉支援を充実させるために今後、必要となる取り組みは何ですか。町村社協の取り組みだけでなく、一般論も含め、物資（財とサービス）、財政、人材、情報、その他（地域包括ケアシステムの構築など）の視点からお教えてください。
- (7) あなたの社協は「地域福祉活動計画」を策定していますか。また、あわせて町村（行政）の福祉計画（高齢者福祉計画・介護保険事業計画、障害者計画・障害福祉計画、子ども・子育て支援計画、地域福祉計画など）の取り組み状況についてお教えてください。
- (8) あなたの社協は、福祉支援を必要とする避難者の方々の中長期的な将来像をどのように描いていますか。お教えてください。

住民ヒアリング質問項目

- (1) 現在おいくつですか、被災前どちらにお住まいでしたか。
- (2) 被災前及び現在の家族状況についてお聞かせください。
- (3) 被災前及び現在の住まいの状況についてお聞かせください。
- (4) 被災前及び現在のお仕事の状況についてお聞かせください。
- (5) 被災前及び現在の暮らし向きについてお聞かせください。
- (6) 被災前及び現在のご自身の健康状態についてお聞かせください。
- (7) 現在の地域との関わりの状況についてお聞かせください。
- (8) 生活情報の入手の状況についてお聞かせください。
- (9) 困っていることなどの相談の状況についてお聞かせください。
- (10) 福祉サービスを利用の状況についてお聞かせください。
- (11) これからについて
 - ・避難先で暮らしやすくするために何が必要ですか。
 - ・これからの希望についてどう思いますか。 など

専門職チームヒアリング質問項目

- (1) 福島県内の福祉関連の職能団体（社会福祉士会、介護福祉士会、精神保健福祉士会、介護支援専門員協会、など）の構成と会員数、相互の関係についてお教えてください。また、県内の職能団体を包括するような団体（連合体）のような組織はありますか。
※ 上記のことに関連する資料などがありましたら、ご提供ください。
- (2) 東日本大震（2011年3月11日）以降、各職能団体は、どのような支援活動を展開してきましたか（していますか）。また、それらの活動は、各職能団体の、個別の判断によるものですか、それとも各団体間で相談や協議などをして決めたのでしょうか。お教えてください。
※ 上記のことに関連する資料などがありましたら、ご提供ください。
- (3) 東日本大震災後の被災地への福祉支援として、いわゆる「専門職チーム」が結成された理由と経緯についてお教えてください。
※ 結成された当時、被災者にはどのようなニーズがあると考えていましたか。それはこの間、どのように変化してきましたか。
- (4) 専門職チームはこの間、どのような活動を展開してきましたか（展開していますか）。具体的にお教えてください。
※ 専門職チームの活動に関する記録や資料などがありましたら、ご提供ください。
- (5) 専門職チームは、被災者への福祉支援という点で、どのような役割や機能を果たしてきましたか（果たしていますか）。具体的にお教えてください。
- (6) 専門職チームが支援活動を展開してきた（展開している）なかで感じた限界や、問題点などがありましたら、具体的にお教えてください。
- (7) 専門職チームは、これからどのようになっていくと思われますか。また、専門職チームの、今後の課題などについてもお教えてください。

福島の避難者に対する効果的な
福祉支援のあり方に関する調査研究事業
報告書

平成 27 年 3 月

発行：一般社団法人 全国介護者支援協議会
〒 171-0014 東京都豊島区池袋 2-55-12 セピア池袋 II 205
TEL：03-5992-0372 FAX：03-5992-0373
URL：http://zenkaikyo.or.jp